

ワイヤーウェーブライト・大波（壁・平葺き工法）に関する法的根拠について

1. はじめに

ワイヤーウェーブライト・大波は、網入型板硝子をモールド成形して製作されたガラスになります。法的な取り扱いは、開口部かつ非耐力壁になります。建物壁面が延焼線内に該当する場合は、防火設備としての性能が必要になります。

2. 防火設備に関する適用法律条文

平成12年建設省告示第1360号改正：平成31年3月29日・告示第470号「防火設備の構造方法を定める件」第12号に相当致します。

※第1360号：平成31年3月29日・告示第470号 第12号 抜粋

「建築基準法施工令第百九条の2に定める技術的基準に適合する防火設備の構造方法は、次に定めるものとすることとする。

鉄材又は鋼材で造られたもので、鉄板又は鋼板の厚さが0.8ミリメートル以上のもの（網入りガラス（網入りガラスを用いた複層ガラスを含む。第5号において同じ。）を用いたものを含む。）

2・ワイヤーウェーブライト・大波（壁・平葺き工法）製品構成

当社『ワイヤーウェーブライト』は採光材として網入ガラス（型板）を波形状にモールド成形したガラスを使用し、ガラス長辺側目地は耐火性が高いステンレス製のカバーキャップ内に採光材長辺部を差込み、止水する構成となっております。カバーキャップは、SUS製フックボルトで各胴縁に固定されています。ガラス上下は、150mmの重ね工法となります。各ガラスは、胴縁に固定されたステンレス製下見金具（ガラス自重を受け胴縁に伝達・ガラス1枚につき2か所設置）にて、胴縁に固定されています。ガラス開口部外周は、鋼板製水切りと取り合います。風圧荷重（負圧）は、標準施工は長辺側カバーキャップが負担し、フックボルトを介して各胴縁に伝達します。負圧荷重が大きい場合、オプションの負圧対策アングル（SUS L-40×40×3）を併用（2点・3点）します。風圧荷重（正圧）は、各胴縁が直接負担します。

○ワイヤーウェーブライト（壁・平葺き工法）の部材名称と材質

No	部材名称	材質	機能
1	ガラス	網入ガラス（型板） ※波形状 ※大波	採光材 耐火材
2	カバーキャップ（縦目地）	ステンレス 1.0mm	ガラス押え・止水材・耐火材
3	下見金具	ステンレス鋼板 2.0mm 幅20mm	ガラス押自重受け ガラス支持材
4	フックボルト	ステンレス 6Φ	ガラス支持材 風圧荷重胴縁伝達材
5	外周水切り	鋼板0.8mm ※建築工事	止水材 耐火材
6	胴縁	鉄製（建築工事） 軽量型鋼・角パイプ等	ガラス支持材 耐火材

※材質的には全て不燃材（平成12年建設省告示第1400号）該当品

3. まとめ

ワイヤーウェーブライト・大波（壁・平葺き工法）は、平成12年建設省告示第1360号改正：平成31年3月29日・告示第470号「防火設備の構造方法を定める件」第12号に相当しており、防火設備に相当するものと考えております。

2022年3月8日
日昌グラス株式会社
開発営業部